



自家用車に頼らず暮らし続けられるまちを目指して!

自由ヶ丘で自動運転バスの実証運行を実施

市は団地再生のモデル地区である自由ヶ丘地区にて自動運転バスの実証運行を令和7年2月から実施します。

自由ヶ丘地区は高度経済成長期に開発された郊外ニュータウンであり、開発から半世紀が経過した現在、幅広い世代、多様な家族類型が生活するまちです。まちの成熟に伴い、人口減少や住民の高齢化が進み、人口が多い時期は約16,000人、高齢化率約20%(市全体約21%)現在は約15,000人、高齢化率約33%(市全体高齢化率約31%)であり、移動に不安を抱く住民が増加しています。

将来的に「自家用車に頼らずに暮らし続けられるまち」という価値を持った住宅団地への転換を目指し、実証運行に取り組みます。

本事業は国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用(県内では2自治体が採択)して実施するもので、人口減少や運転手不足を背景に、持続可能な移動手段を確保する必要があるという共通の課題を持つ民間企業などと連携し、令和9年度の本格運行を目指します。

【自動運転バス実証運行 概要(予定)】

(1) 運行スケジュール等

運行期間: 令和7年2月中旬~2月下旬

運行区間: 自由ヶ丘地区コミュニティ・センター~JR 赤間駅南口の2地点(約2km)

運行本数: 5 往復

運賃: 無料

(2) 使用車両

車種名: Minibus(ミニバス)

※BYD・J6をベースとした(株)ティアフォー製のEV車両

定員: 13人

速度: 最高35km/h

自動運転レベル: 2

※運転手が常時運転席に座り、運行の責任を負い運行

(3) 主な関係者

A-Drive(株)、西日本鉄道(株)、西鉄バス宗像(株)、アイサンテクノロジー(株)



《使用車両イメージ》



《自動運転バス運行ルート》

【問い合わせ先】

宗像市都市再生部都市再生課 担当: 濱村・宝田 TEL0940-36-9777